

島根大学支援基金だより

Vol.13
2025 Aug.



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

総務部総務課
支援基金担当

学生の起業支援《株式会社ストラテジーAI》

島根大学支援基金の学生ベンチャースタートアップ支援奨励金を受給し、山陰地域の企業へAI（人工知能）導入を支援する大学発ベンチャー企業「株式会社ストラテジーAI」を創業した中尾香達さん（人間科学部4年）に、事業内容や支援金の使途などについてお話を伺いました。



中尾香達さん

この度は島根大学支援基金より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。株式会社ストラテジー AIの中尾と申します。いただいた奨励金は、最新の高性能パソコンやディスプレイ・周辺機器の整備に充当し、生成AI開発環境を強化することができました。現在、共同創業者の竹林（竹林蒼太さん総合理工学部4年）とともに、山陰地域の企業へAI導入研修や業務効率化コンサルティングを行い、地域のデジタルトランスフォーメーションを推進しております。地方では人的・資金的リソース不足という課題に直面しますが、支援金により事業基盤を固めさせていただきました。また、AIを活用した販促システムやカスタマーサポート自動化など、地域課題の解決に直結するプロジェクトを進行中です。そして、学内外の学生エンジニアとも連携し、実践の場を提供することで次世代人材の育成にも貢献しています。資金調達や法務対応など未経験の領域では苦労も絶えませんが、皆様からの温かいご支援と励ましが日々の原動力となっています。今後は島根発の成功事例を全国へ波及させ、学生起業家が挑戦しやすいエコシステムづくりにも取り組んでまいります。重ねて感謝申し上げます。

令和6年度支援基金 決算報告

事業名	受入		支出	
	件数	金額	件数	金額
A 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援	594	25,920,846	36	9,200,000
夢チャレンジ奨学金			16	3,200,000
大学院修士課程等進学支援奨学金			20	6,000,000
B 大学の教育・研究活動等に対する支援	612	6,932,208	6,132	9,503,464
グローバルチャレンジ奨学金			24	2,900,000
中長期インターンシップ奨学金			9	270,000
学生ベンチャースタートアップ支援奨励金			1	784,000
物価高に対する学生支援 100円ごはん事業			6,098	2,744,100
学生団体等支援事業			32団体	2,144,000
音楽教育振興基金事業			-	61,629
医学部附属病院脳神経内科研究支援基金事業			-	380,000
理系進学啓発イベント支援事業			-	219,735
C 附属学園の教育活動等に対する支援	46	361,000	-	-
D 次世代たたらプロジェクト参画学生等に対する研究等支援	56	927,890	4	1,300,000
次世代たたら奨学金			4	1,300,000
E 学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動に対する支援	85	2,411,500	99	962,000
大学院学生に対する学会発表等に関する奨学金			99	962,000
F しまね未来人材育成に対する支援	23	11,619,000	40	6,000,000
県内定着奨学金			40	6,000,000
G 外国人留学生に対する支援	43	639,500	6	1,100,000
留学生支援事業			6	1,100,000
H 医学部附属病院に対する支援	32	1,453,500	-	-
I 医学部に対する支援	58	18,763,500	-	-
J 法文学部に対する支援	1	30,000	-	-
K 教育学部に対する支援	4	50,000	-	-
L 人間科学部に対する支援	1	5,000	-	-
M 総合理工学部に対する支援	4	141,000	-	-
N 人間科学部に対する支援	0	0	-	-
O 生物資源科学部に対する支援	7	46,600	-	-
合 計	1,566	69,301,544	6,317	28,065,464

※学生団体等支援事業の人数は含まない。

令和6年度は、皆さまから69,301,544円のご寄附をいただき、延べ6,317名の学生と学生サークル32団体に合計28,065,464円の支援をすることができました。厚く御礼申し上げますとともに、引き続き皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※C区分・H～O区分は、事業を安定的、継続的に実施するため、一定額を財源として確保する目的で令和6年度は支援を実施していません。

より詳細な内訳などは支援基金HPに掲載しております。
<https://www.fund.shimane-u.ac.jp/>



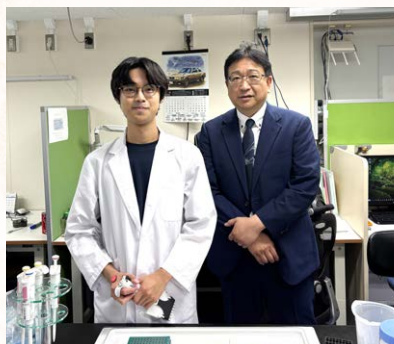
支援を受けた学生の声

本学の大学院に在籍する学生のうち一定の条件を満たす学生を対象に、研究の成果発表等のために学会等へ参加する際、その旅費等の一部を支援する奨学金を支給しています。今回は、2024年度に奨学金を受給し、学会発表を行った学生の報告をご紹介します。

人間社会科学研究科 中村 優斗さん

中村さんは、遺伝子多型と生活習慣に関する研究を行っており、糖代謝に影響を与える新規遺伝子多型について発表しました。

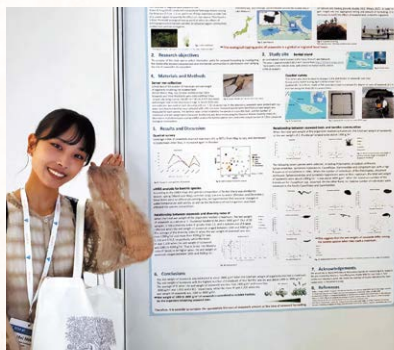
私は今回の発表を終えて、自分の研究の現在位置を深く理解できたと思う。まず、対外的な“promotion”をする上では、自分の研究内容の学術的価値を正確に捉える必要があった。今までやってきたことを改めて振り返った。一方、実際に発表すると、質問を受ける。その質問の中には自分では考えなかったような疑問点や先の展開につながるものが含まれていたりする。この先どう研究を進めていくかという先の道筋に関するヒントとなった。このように、学会発表を通して自身の研究の今までとこれからを認識することができた。さあ、次の目的地へ。



自然科学研究科 三木 芽衣さん

三木さんは、中海の海藻類の現存量の変化が生物群集に及ぼす影響について研究発表を行いました。

初めての国際学会への参加でした。英語でのポスター作成には苦労しましたが、主指導教員から添削やアドバイスを受け、納得いくまで表現方法やレイアウトに工夫を凝らしました。その結果、他国の学生や教授に研究内容を理解していただき、更には「あなたの研究がとても好き。これからも頑張ってください」という嬉しいお言葉をいただくことができました。この経験は、自分の研究に対する自信と今後のモチベーションの向上に繋がりました。今後はより発展した研究ができるよう努めるとともに、投稿論文の作成にも取り掛かりたいと考えています。



島根大学医学部 創立50周年記念募金のご案内

島根大学医学部は、2025年に創立50周年という節目を迎えます。これまで地域医療の発展に貢献してきた本学では、次の50年に向けて教育環境のさらなる充実を目指し、新教育棟の建設を計画しています。

この新教育棟には、OSCE対応の実習室、グループ討論室、多目的ルームなどを備え、学生や若手医師がより実践的なスキルを磨ける環境を整備します。この取り組みを支えるため、皆様からのご寄附を募っております。

寄附金は金額にかかわらず、新教育棟の建設、50周年事業に充てられ、寄附者様のご芳名は感謝の意を込めて掲示させていただきます。



島根大学医学部長 石原俊治



詳細は医学部創立50周年記念事業
公式サイトをご覧ください。
<https://50th.med-shimane-u.jp/>



新教育棟「次世代の医療人が育つ、新たな学びの場」（建設場所・着工時期は未定）